

---

**ボーダーブレイク      ワールドバースト**

ASUKA

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ボーダーブレイク                      ワールドバースト

### 【Nコード】

N1432Z

### 【作者名】

ASUKA

### 【あらすじ】

ブラスト・ランナーを駆り戦場を駆け巡る傭兵…ボーダー

エイオースでの爆発事故による“ニユード”の飛散、これに端を発する果てなきニユード戦争

その終止符は唐突であり、そして、新たな悲劇の幕開けだった

ボーダーブレイクと地球防衛軍のクロス短編です

(前書き)

ども。おはこんばんにちわ。

ASUKAと申します〜 ) (

このたびは、この作品を閲覧してくださって、誠にありがとうございます。

駄作者の思いつき、かつ、超短い短編ですが…最後までお付き合い  
くださいませ

(・・)(・)ノ

ぜひ、感想を送ってください！一言で構いません！  
宜しく願います〜。

始まりは突然だった

「お、おい！空をしてみるよ！！」

「っ…な、何…あれ…？」

〈放棄区画D51 EUSTベース〉

西暦2115年。

“ソテル計画”、そして、その拠点たる軌道上の施設“エイオース”。

長年の研究の果て、これらの全てを手中に握ってきた組織“GRF”。

エイオースの爆発事故により、この施設で発見された新エネルギー“ニユード”が地上に降り注ぎ、地球は甚大な損害を被った。

「レオ……。」

「リサ…まさか！？GRFめ、生物兵器を…」ザザツ…オさん！聞こえますか！？」っ、どうしたんだ、ティトー！？」

GRFは、ニユードの隠された能力をひたすら隠蔽していた。

エネルギーとしての優れた能力、その代償とでも言うのだろうか…ニユードは強力な自己増殖性と人体に対する尋常ではない毒性を有していたのだ。

その毒性は、薬剤などで治療できるようなものではなく…先天的ともいえる素質を持ったものでなければ一度、ごく微量でも体内に摂取した瞬間、死という避けられない運命が確定する。

『そ、空から飛んでもなくおっきな化け物が…うわっ、ミリィー！』

「おい！ティトー！」

「レオ！レーダーに…この生体反応！？大きすぎるわ…。そ、それに、こっちに来る！？」

「くっ…！」

この日から、世界はいまだかつてない混沌の境地に陥った。

（旧フロア市街地）

「コイツっ！壊れるおおっ！」

「邪魔だ、どけっ！」

「ワフトローダーで戦線を突破するっ！」

確認されたこともない巨大生物、それは宇宙からの未確認生命。  
そして…人類は侵略されていく。

〈ダリーヤ遺跡群〉

「次はどいつだ!？」

「私の理論が正しい事を、証明してあげる!!」

「私も頑張らなきゃ…いきます!!」

ブラスト・ランナー同士が傷つけあった戦場は、あっという間に姿を一変させ。

巨大生物と多種多様、十人十色の機械部隊がせめぎ合う真の地獄となった。

〈スカービ溪谷〉

「ふっふふ…私には敗北はありません！」

「あはっ、注意が足りないんじゃない!?」  
「いくらでもかかってこい…!」

根城を発見、GRFとEUSTの垣根を越えたボーダー連合軍の総力で女王蟻とも言える生命体を殲滅。  
しかし…。それで終わりはしなかった。

〈ウーハイ産業港〉

「バ、バカな…!」

「くっ…撃て!撃ちまくれっ!ここを死守するぞっ!」

「これで弾薬を補給してください!」

「偵察を開始するっ!」

「今だ!一斉攻撃を仕掛けるぞっ!」

突き付けられたのは、圧倒的な力の差。

新たに送り込まれたのは、見たこともない巨大兵器の数々と。サイボーグとでも言える生物の群れ。

〈第三採掘島〉

「うわあああ!」



「くそっ…！」

「あなた方…！許しませんわ！！よくも…！」

次々と送り込まれる新たな刺客。

ボーダー連合軍…“地球防衛軍”、またの名をE G F…は、かつての戦場を重要拠点としたが次々と喪失。

そして、遂に…。この戦いで彼らは“移動の拠点”を失った。

〈城塞都市バレリオ〉

「最終防衛ライン、崩壊！」

「フィオナさん！このままじゃ…！」

「…撤退よ。少しでもいいから戦力を残すの！あなた達も行きなさい！…！ボーダーには、あなた達が必要よ！」

「ですが！」

「色々言われてきた私だからこそ、引き受けられる事があるの。…ここは放棄します！」

港の封鎖、制空権の喪失。

分断されたE G Fは、本部さえ放棄せざるを得なくなった。

〈極洋基地ベルスク〉

「…全部隊壊滅…そんな、ここまでなの!？」

「ま、待つてください、ヒルダさん!まだ…まだ、誰かが戦っています!」

「ま、まさか!?...誰、誰なの!」

「リーダーの復旧を確認!...識別…クーガー01!？」

「クーガー01ですって!?...さすが、“エースボーダー”ということかしら!?!？」

最悪の状況。

分断され、一切の補給が不可能だった。

にもかかわらず、彼らは生き残り、運命とも言える偶然を積み重ね、結集し…マザーシップ目掛け最後の攻撃を仕掛けた。

彼らの名…時代に轟く最強の称号…“エースボーダー”。

「オレは…まだ終わらん!」

一人の男がいた。

その本名を知る者はいない。

彼は全て失った。

彼に残ったのは、最強の力と二つ名…“クーガーのTOMMY”。

ハイスピードロボットチームバトル《ボーダーブレイク エアバー  
スト》

×  
地球防衛軍3

語られるは、時代に名を刻んだ一人の男の歴史

(後書き)

いかがでしょうか？

黒歴史ものですが…w

感想その他、お待ちしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1432z/>

---

ボーダーブレイク      ワールドバースト

2011年12月5日00時48分発行